

**製品名: BTRC マウスモノクローナル抗体**

**カタログ番号: AMM81896**

研究使用のみ

## 概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	68.9kDa

## 抗原情報

遺伝子名	BTRC
別名	FWD1; FBW1A; FBXW1; bTrCP; FBXW1A; bTrCP1; betaTrCP; BETA-TRCP
遺伝子 ID	8945.0
SwissProt ID	Q9Y297
免疫原	大腸菌で発現したヒト BTRC (AA: 24-151) の精製された組み換え断片。

## 背景

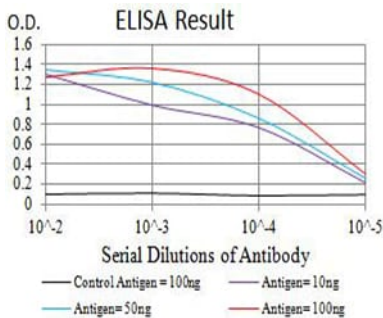
この遺伝子は、約 40 アミノ酸のモチーフである F ボックスを特徴とする F ボックスタンパク質ファミリーのメンバーをコードします。F ボックスタンパク質は、リン酸化依存性ユビキチン化に機能する SCF (SKP1-cullin-F-box) と呼ばれるユビキチンタンパク質

リガーゼ複合体の4つのサブユニットの1つを構成します。Fボックスタンパク質は、WD-40ドメインを含むFbws、ロイシンリッチリピートを含むFbl、および異なるタンパク質間相互作用モジュールまたは認識可能なモチーフを含まないFbxの3つのクラスに分類されます。この遺伝子によってコードされるタンパク質はFbwsクラスに属し、Fボックスに加えて複数のWD-40リピートを含みます。コードされるタンパク質は、HIV-1 Vpuとの相互作用を介してCD4の分解を媒介します。また、リン酸化NFKBIA (核因子κ軽鎖ポリペプチド遺伝子エンハンサー in B細胞阻害因子α) をユビキチン化し、分解の標的として働き、核因子κBを活性化することが示されています。選択的スプライシングによる転写バリエーションも報告されています。関連する擬似遺伝子が6番染色体上に存在する。

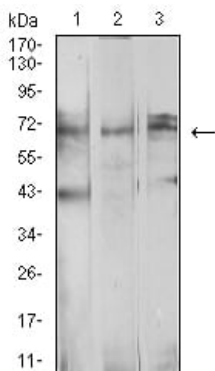
## 研究分野

Wntシグナル伝達経路

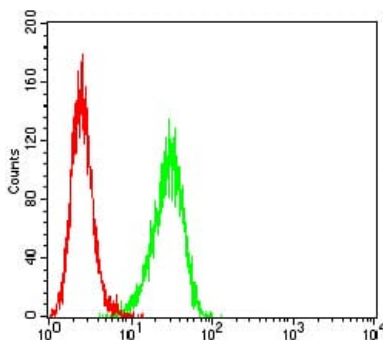
## 画像データ



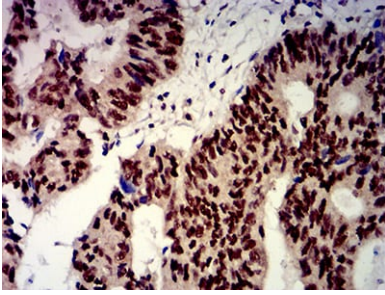
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



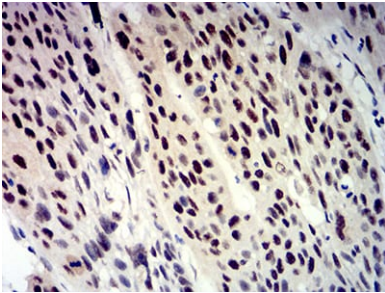
Ramos (1)、MCF-7 (2)、および K562 (3) 細胞溶解物に対する BTRC マウス mAb を使用したウエスタンブロット分析。



BTRC マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフローサイトメトリー分析。



DAB 染色による BTRC マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト食道癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による BTRC マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト直腸癌組織の免疫組織化学分析。